



東北大学

平成 27 年 10 月 5 日

報道機関 各位

東北大学附属図書館

企画展「狩野文庫の世界～^{かのうこうきち}狩野亨吉と愛蔵書」の開催
～ 狩野亨吉生誕 150 周年記念 ～

<概要>

東北大学附属図書館では、狩野亨吉生誕 150 周年を記念し、10 月 5 日（月）から 11 月 3 日（火）までの間、「狩野文庫の世界～狩野亨吉と愛蔵書」と題して、企画展を開催いたします。

今回の企画展は、「古典の百科全書」「江戸学の宝庫」として世界的に知られ、学術資料としても高く評価されている当館所蔵の「狩野文庫」を、旧所蔵者である狩野亨吉博士自身に焦点を当て、その生涯と学術的探求、資料収集、愛蔵書との関わりから読み解く展示内容となっております。

東京帝国大学の後輩であり親友の夏目漱石や、中学以来の親友澤柳政太郎（東北帝国大学初代総長）らとの親交や日本思想史上の巨人「安藤昌益」の発見等の業績、稀代のコレクターとしての狩野亨吉の魅力を堪能いただけるよう、これまで未公開だった珍しい資料も出展いたしております。知られざる狩野亨吉の人物像と当館書庫に現存するその愛蔵書の数々をぜひご覧ください。

入場は無料です。詳細は別添をご参照ください。

つきましては、市民の皆様へ広く周知していただくとともに、御取材の上、紙面、番組等で紹介していただきますようお願いいたします。なお、御取材いただける場合は、事前に下記問い合わせ先にご一報くださいますよう、お願いいたします。

開催日時及び会場：

日 時： 平成 27 年 10 月 5 日（月）～平成 27 年 11 月 3 日（火）10:00～17:00（会期中無休）

会 場： 東北大学附属図書館エントランスホール展示コーナー・多目的室

（仙台市青葉区川内 27-1、川内キャンパス）

入 場： 無料

※会場までは、公共交通機関をご利用願います。

（お問い合わせ先）
東北大学附属図書館
担当：村上、福井
電話番号：022-795-5931, 5939

平成27年度東北大学附属図書館企画展

狩野亨吉生誕150周年記念



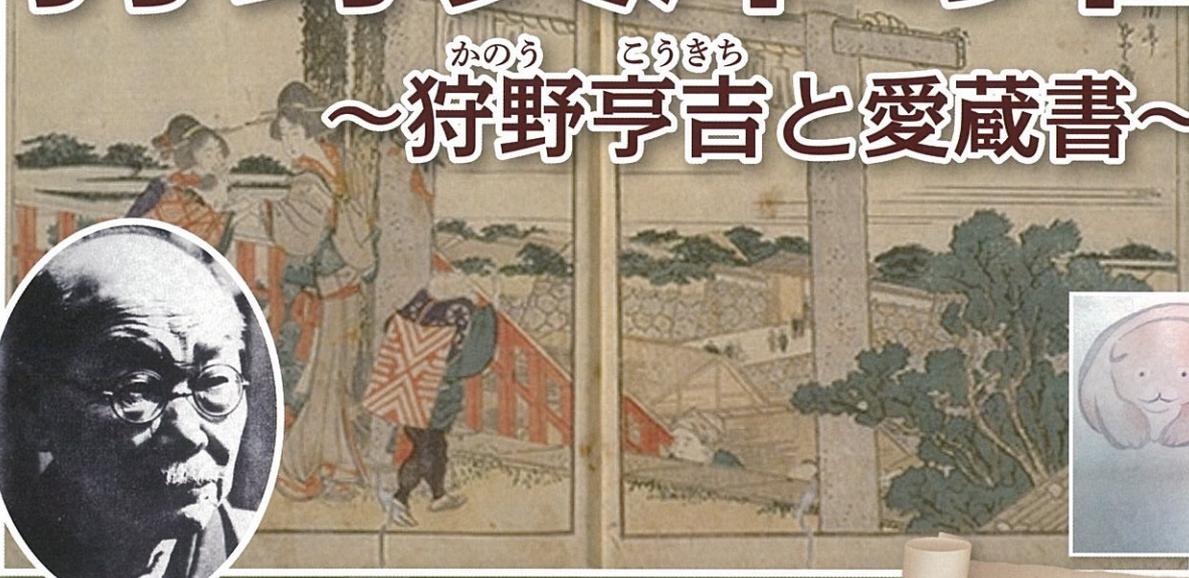
TOHOKU UNIVERSITY

狩野文庫の世界

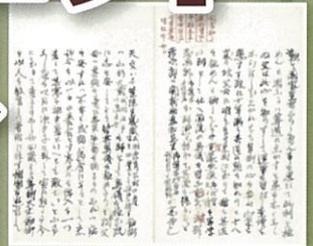
かのう こうきち
～狩野亨吉と愛蔵書～



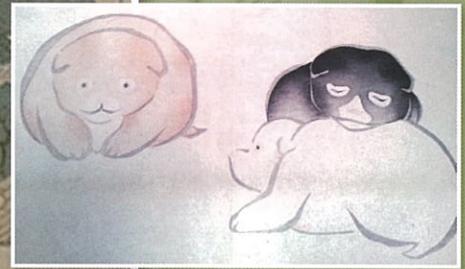
狩野亨吉(「狩野亨吉の思想」より)



「山満多山」



「本多利明先生行状記」



「狂齋畫譜 初編」

「古典の百科全書、江戸学の宝庫」
10万点以上のコレクションから大公開!

日時:平成27年10月5日(月)～11月3日(火)

10:00～17:00 入場無料

場所:東北大学附属図書館本館
1階エントランスホール/多目的室

プロローグ

狩野文庫の世界へようこそ

【第1部】コレクター 狩野亨吉

【第2部】狩野文庫の至宝

【第3部】亨吉の探求と再発見

【第4部】亨吉の愉しみ

記念講演会 入場無料

日時:平成27年10月24日(土) 開場 13:00 開演 13:30
会場:東北大学附属図書館本館 2階グローバル学習室

◎第一部「狩野亨吉と東北大学」

曾根原理氏(東北大学学術資源研究公開センター史料館助教)

◎第二部「狩野亨吉の蒐書方針と学術的特色について」

磯部彰氏(東北大学東北アジア研究センター教授)

■狩野文庫特別ツアー 講演会終了後、15:50頃～

日頃は入れない狩野文庫などの書庫にご招待!講演会終了後にご案内いたします。ツアー後、ガイド付き展示鑑賞も実施します。

■ガイド付き展示鑑賞 講演会終了後、15:50頃～

参加希望の方は、時間までに展示会場にお越しください。

アクセスMAP

- JR仙台駅西口バスプール9番より『理学部・工学部経由 動物公園循環』、『宮教大』、『青葉台』、『成田山』行きに乗車
- 『東北大川内キャンパス・萩ホール前』で下車



※ご来館の際は公共交通機関をご利用ください。

主催:東北大学附属図書館 仙台市青葉区川内27-1 TEL:022-795-5911(代表)

狩野文庫の世界～狩野亨吉と愛蔵書～

企画展関連行事開催のお知らせ

< 企画展関連行事 >

■ 記念講演会 入場無料

日 時: 平成27年10月24日(土) 開場 13:00 開演 13:30

会 場: 東北大学附属図書館本館 2階グローバル学習室

◎ 第一部「狩野亨吉と東北大学」

曾根原 理 氏 (東北大学学術資源研究公開センター史料館助教)

◎ 第二部「狩野亨吉の蒐書方針と学術的特色について」

磯部 彰 氏 (東北大学東北アジア研究センター教授)

■ 狩野文庫特別ツアー 10月24日 講演会終了後、15:50頃から

日頃は足を踏み入れることのできない狩野文庫などの書庫にご招待!

講演会終了後にご案内いたします。事前予約などは不要です。

ご希望があれば、ツアー後、ガイド付き展示鑑賞も行います。

■ ガイド付き展示鑑賞 10月24日 講演会終了後、15:50頃から

本展示を資料解説付きでご案内いたします。参加ご希望の方は、

時間までに1階入口脇の展示会場(多目的室)にお越しください。

記念講演会 第一部

「狩野亨吉と東北大学」

東北大学学術資源研究公開センター史料館助教 曾根原 理

狩野文庫は、東北大学の蔵書の白眉として知られている。しかし、旧蔵者の狩野亨吉と東北大学の関係はごく薄い。狩野は秋田県の士族出身だが、若くして東京に移住し、東京で進学し、第一高等学校(東京)や京都帝国大学の教授をつとめた。彼の旧蔵書が東北大学に収められたのは、旧友の沢柳政太郎が東北帝国大学の初代総長になった縁による。それは単なる偶然とも言えるが、偶然にとどまらない結果をもたらしたと考えられる。

狩野の友人に漱石がおり、漱石門下の阿部次郎や小宮豊隆は、狩野が第一高等学校長時代の生徒であった。阿部や小宮は、東北帝国大学に法文学部が設けられた際に、仙台に赴任し、狩野や漱石の影響を受けた学風を創りだした。東北大学自体は狩野との縁が薄かったものの、狩野の生涯は間接的に東北大学の歴史に寄与していたのではないだろうか。阿部や小宮の活動を通じて、その点を考えてみたい。

記念講演会 第二部

「狩野亨吉の蒐書方針と学術的特色について」

東北大学東北アジア研究センター教授 磯部 彰

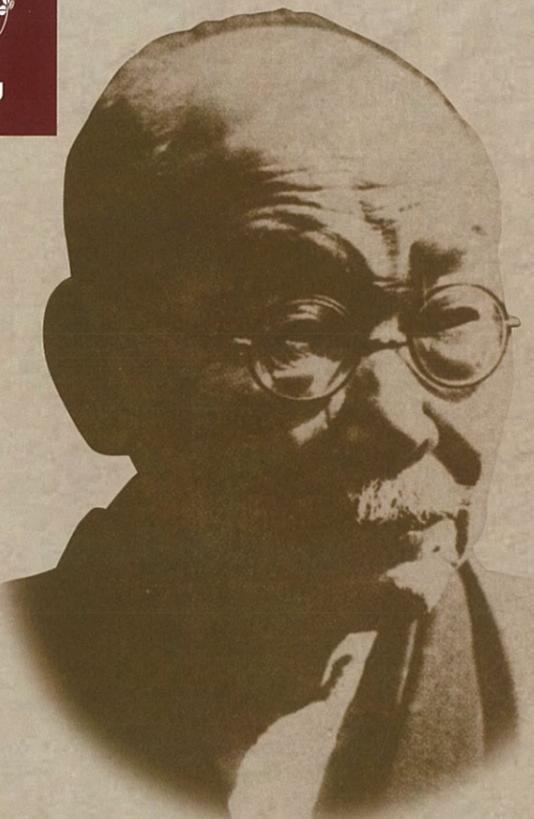
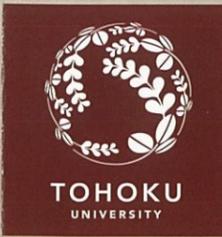
廃藩置県後、旧大名家では、江戸時代以来の蔵書や什器などで不要な品々とされたものは処分された。一方、新たに興った財閥などの新時代の担い手は、家名の上昇と文化保護者を目指し、投資を兼ねて市場に放出された様々な文化財を購入した。その中であって、狩野亨吉は、私費をもって典籍、古文書、絵画、洋書など多数のジャンルのものを購入した。彼が目を向けたものは、文化史研究の資料群であり、それは明治初年までの日本に蓄積されて来た文化そのものであった。

今日、東北大学の狩野文庫には、宋元版や旧鈔本、絵画・地図など、すぐれた文化財が多くあるため、東北大学蔵本が狩野亨吉の蒐集品すべてのように錯覚しがちである。この度の講演では、狩野コレクションがいくつかの地に離散したこと、しかしそれでもなお東北大学には数多くの名品が保存されていることを、狩野文庫本蔵書目録、明清小説、江戸の絵本、印譜などいくつかの資料を紹介しつつ、狩野文庫の特徴と狩野亨吉の蒐集意図をお話しさせていただく予定である。

展示資料一覧

項番	書名	著者名	刊写年・書写年
第一部 コレクター狩野亨吉			
1-1	東北帝国大学図書館蔵書印	東北帝国大学図書館	大正初期
1-2	荒井泰治氏寄附による狩野文庫受入印	東北帝国大学図書館	大正初期
1-3	狩野文庫目録及び第1回納入時間連文書	狩野亨吉 自筆 他	大正時代
1-4	圖書原簿(狩野蔵書) 和漢書の部 第一冊・第二冊	東北帝国大学図書館	不詳
1-5	狩野文庫概説	東北帝国大学附属図書館	昭和12年(1937)刊
1-6	東北帝国大学所蔵狩野氏蔵書假目録	東北帝国大学図書館	大正3年(1914)刊
1-7	狩野亨吉の生涯	青江舜二郎著	昭和49年(1974)刊
1-8	伝・狩野亨吉 栄達を捨てた達人	渡部和夫著	昭和60年(1985)刊
1-9	狩野亨吉の研究	鈴木正著	平成25年(2013)刊
1-10	燐寸ペーパー帳	狩野亨吉 蒐集	不詳
1-11	絵葉書 コレクション より	狩野亨吉 蒐集	不詳
1-12	千里眼記事 乾/坤	狩野亨吉 蒐集	不詳
1-13	スクラップ・ブック 2冊	狩野亨吉 蒐集	不詳
1-14	岩波講座 世界思潮 第十一冊より「安藤昌益」	狩野亨吉著	昭和5年(1930)刊
1-15	安藤昌益と自然真営道	渡邊大海著	昭和5年(1930)刊
1-16	思想 特輯 日本文化 より「天津教古文書の批判」	狩野亨吉著	昭和11年(1936)刊
1-17	神代文字神靈寶巻 巻子2軸		不詳
1-18	本多利明先生行状記	宇野保定	不詳(写本)
1-19	オクダント用法記 二巻圖式一卷 三冊	本多利明選	不詳(写本)
1-20	諸處経緯度及方位里程 一冊	本多利明選	不詳(写本)
1-21	八圓儀記	志筑忠雄	不詳(写本)
第二部 狩野文庫の至宝			
2-1	坤輿萬國全圖(レプリカ)	利瑪竇編 / Matteo Ricci	不詳
2-2	萬曆年間北京城内圖		萬曆年間(1573-1620)刊行
2-3	史記 孝文本紀 第十(レプリカ)	(漢)司馬遷選 (劉宋)裴駰集解	延久5年(1073)写
2-4	類聚国史 卷第二十五(レプリカ)	菅原道真選	[平安末期写]
2-5	類聚三代格		不詳(写本)
2-6	君臺觀左右帳記	真相選	永祿2年(1559)写
2-7	本草綱目		不詳(刊本)
第三部 亨吉の探求と再発見			
3-1	明德館書物目録	狩野亨吉写	明治28年(1895)写
3-2	明德館書物目録	前小屋傳之助写	不詳(写本)
3-3	鷹山公訓女文 並外三種	上杉治憲	不詳(写本)
3-4	會津風土記	宇津美某令写	天明2年(1782)写
3-5	切支丹屋敷圖 一枚	大澤貞次郎寫	弘化3年(1846)写
3-6	鳴蘭演戲記	筒井政憲編	不詳(写本)
3-7	阿蘭陀芝居(圖巻部分) 絵はがき	川原慶實筆	-
3-8	菊池容齋印譜	狩野亨吉編纂	不詳(刊本)
3-9	古今當流新碁經 二巻 二冊	秋山仙朴正廣	安永3年(1774)刊
3-10	成形圖説	島津重豪	享和2年(1802)序(刊本)
3-11	蘭療方	廣川察訳	文化3年(1806)刊 瑤池齋版
3-12	解剖存真圖	南小柿寧一図	天保13年(1842)写
3-13	地轉儀略圖解 折本 一帖	司馬江漢	不詳(刊本)
3-14	新編塵劫記 巻下	吉田光由	寛永4年(1627)跋(刊本)
3-15	塵劫記	[吉田光由]	寛永11年(1634)刊
3-16	新編塵劫記 下巻	吉田光由	寛永18年(1641)刊
3-17	新編塵劫記	吉田光由編	寛文13年(1673)刊
3-18	新編塵劫記	吉田光由編	江戸前期刊
3-19	新編塵劫記	吉田光由編	江戸前期刊
3-20	新編塵劫記	吉田光由	江戸前期刊
3-21	鮫皮精義	稻葉通龍補正	天明5年(1785)刊
3-22	The sword book in Honchō gunkikō / Arai Hakuseki ; and, The book of samé ko hi sei gi of Inaba Tsuriō	Henri L. Joly and Inada Hogitaro 訳	1963刊
3-23	築城典刑	和蘭吉母波百兒著 大鳥圭介譯	不詳(写本)
3-24	Handleiding tot de kennis der versterkings-kunst	Pei, C. M. H.	1857刊
3-25	漂泊英吉利船圖 並附録(文政七年常陸國大津濱江イギリス船來ル圖)巻子	小沼太仲六侃齋画	不詳
3-26	蝦夷國全圖(三國通覽圖説 附圖)	林子平選	不詳(写本)
3-27	山川地理取調圖	松浦武四郎	安政7年(1860)序(刊本)
3-28	Kunstwoordenboek. 's Gravenhage(ウエイラント『學術用語辞典』)	P. Weiland,	1824刊
第四部 狩野亨吉の愉しみ			
4-1	海幸	勝間龍水画 石壽觀秀國編	寶曆12年(1762)刊
4-2	山幸	勝間龍水画 石壽觀秀國編	明和2年(1765)刊
4-3	水族寫真 鯛部	奥倉辰行	安政3年(1856)序(刊本)
4-4	花鳥寫真圖彙(寫真花鳥圖會)	北尾重政紅翠齋模	文化2年至文政10年(刊本)
4-5	融齋畫譜	中林成昌竹洞	弘化3年(1846)刊
4-6	光琳畫譜	芳中写	享和2年(1802)跋(刊本)
4-7	狂齋畫譜 初編	河鍋曉齋	萬延元年(1860)序(刊本)
4-8	職人盡歌合	土佐光信繪 甘露寺親長詞	不詳(写本)
4-9	今様職人盡歌合	新泉園鸞丸編 鍛形紹真画	文政8年(1825)刊
4-10	繪本狂歌山満多山	葛飾北齋画	享和4年(1804)刊
4-11	いろは別 春畫好色本目録	-	不詳(写本)
4-12	傾城買四十八手	山東岩瀨京傳醒選並書	不詳(刊本)
4-13	青樓繪抄年中行事	十返舎一九選 喜多川歌麿	明治年間(享和板再刷插畫彩色)刊
4-14	長枕褥合戦	風來山人平賀源内選	安政7年(1860)刊
4-15	色道茶秘抄 乾坤	大極堂有長	不詳(写本)

※前触れなく展示資料を入れ替えることがございます。ご了承ください。



平成27年
10/5月 ▶ 11/3火

入場無料

時間 10:00~17:00

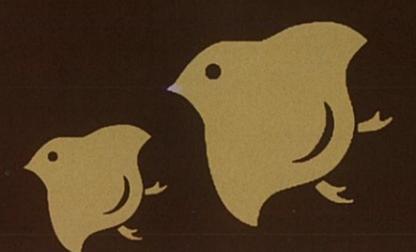
場所 東北大学附属図書館本館
1階エントランスホール/多目的室



主催:東北大学附属図書館
仙台市青葉区川内27-1 TEL:022-795-5911(代)

平成27年度
東北大学附属図書館企画展

狩野亨吉生誕150周年記念
狩野文庫の世界



第一部 コレクター狩野亨吉



図書原簿(狩野旧蔵書)
東北帝国大学図書館蔵書印
荒井泰治氏寄附による狩野文庫受入印



絵葉書コレクション

第二部 狩野文庫の至宝

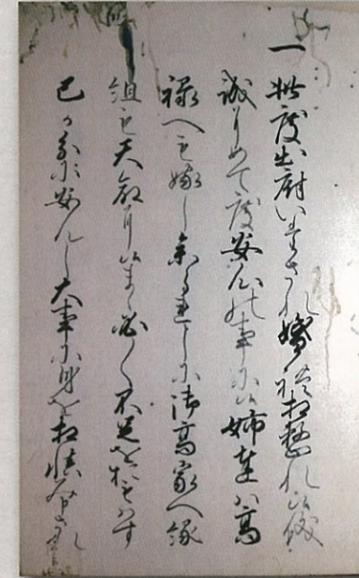


類聚国史 卷第二十五
菅原道真撰



萬曆年間北京城内圖

第三部 亨吉の探求と再発見



鷹山公訓女文 並外三種
上杉治憲



阿蘭陀芝居
川原慶賀筆

第四部 亨吉の愉しみ



海幸
勝間龍水画 石壽観秀國編



青樓繪抄年中行事
十返舎一九撰 喜多川歌麿